



平成30年度

避難行動要支援者対策

～災害弱者をつくらない～

災害が発生した際に、高齢者や障がい者の方々等は、健常者に比べて避難時に特別な対応が必要な場合が多く、また、避難生活においてもより大きな困難を伴うことがあります。この研修では、避難行動要支援者※に対して、平時からどのように取組みを進め、災害発生時にはいかにして円滑に避難できるようにするのか、また、避難した後の生活において、それぞれのニーズに応じた生活が送れるよう、市町村等がどのような対策を行っていくべきか考えます。

※「避難行動要支援者」・・・要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する者）のうち、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者。

研修の ポイント

- 1 講義や先進事例から、避難行動要支援者対策の必要性、どのような支援が求められているのかを学びます。
- 2 平時の取組みから災害発生後のケアまで、切れ目のない支援について考えます。
- 3 演習を通じて理解を深め、今後の取組みにつなげます。

開催要領

日程

平成30年11月28日(水)～11月30日(金) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

避難行動要支援者に関わる市区町村や社会福祉協議会、NPO等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください（各自自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。）。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数

30人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。

なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

平成30年10月15日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

平成30年

11月
28日(水)

11:00～
入寮受付・昼食

12:30～
開講・オリエンテーション

13:00～15:35

講義 避難行動要支援者対策を考える
～自ら避難することが困難な人をどう支援するか～

新潟大学危機管理本部危機管理室 教授 田村 圭子氏

避難行動要支援者対策をめぐる法制度、現状や課題について学び、避難行動要支援者の安全な避難及び避難生活のためにどのような支援が必要か、何が求められるのかについて考えます。

15:50～17:00

事例紹介 京都DWATの取組み

京都DWAT事務局、京都DWATチーム員

京都府では、福祉専門職で構成する災害派遣福祉チームDWAT(Disaster Welfare Assistance Team)を編成し、災害時の避難所において現地のニーズに合わせた福祉的な支援や相談対応を行うほか、平常時から災害時に備えた活動を行っておられます。この時間は、これまでの活動実績も踏まえ、DWATの取組みについてご紹介いただきます。

17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25～12:00

事例紹介 地域と専門職を巻き込んだ支援体制の構築

別府市共創戦略室防災危機管理課 防災推進専門員 村野 淳子氏

災害時に避難行動要支援者を安全に避難させるために最も重要である、「地域と専門職との連携」の取組みについて、別府市の事例をご紹介します。また、この取組みを踏まえて進められる個別支援計画のモデルづくりについてもお話しさせていただきます。

13:00～14:30

事例紹介 福祉避難所への取組み

市立輪島病院事務局 参事 河崎 国幸氏

2007年の能登半島地震で、全国初の福祉避難所を設置された輪島市では、その後、マニュアルを作成し、毎年訓練を重ねるなど取組みを進めておられます。この時間は、福祉避難所設置のノウハウや諸課題及び対処方法(事前整備等)などについて、実体験を踏まえてお話しさせていただきます。

14:45～17:00

演習 グループ討議・発表

認定特定非営利活動法人災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード 事務局長 安井あゆみ氏

グループに分かれて、避難行動要支援者対策におけるそれぞれの団体の現状と課題について討議します。

9:25～14:10

演習 ワークショップ・まとめ

認定特定非営利活動法人災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード 事務局長 安井あゆみ氏

前日までの内容を踏まえ、ワークショップでさらに検討を深めます。平時の取組みから災害発生後の取組みまで、市町村等の役割について考えます。最後に講師から講評をいただき、3日間のまとめとします。

14:10～14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

平成30年

11月
30日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。